授業科目	看護臨床実習（2022 年度入学生）					実務家教員担当科目	－
単位	4	履修	選択	開講年次	3～4	開講時期	後期・前期
担当教員	増本　由紀子						
授業概要	本科目は、「病院実習（外来実習、病棟実習、学内実習）」と「講義・演習」の大きく 2 つの内容で実施する。 「病院実習」は、医療機関において、医療と看護の実際を体験的に学び、また、既習の知識と技術を活用し、実習を通して基礎的な看護の視点を学ぶ。将来、養護教諭としての役割を担うための基礎的な能力（知識、技術、態度）を培う。さらに、保健医療福祉の多職種連携の実際を知り、学校保健の在り方を考察し、養護教諭の果たすべき役割を見出せるよう実習をすすめる。「講義・演習」は、病院実習前は、フィジカルアセスメント、看護過程の展開等の演習を行う。病院実習後は、実習での学びを活かした救急処置と養護教諭の活動課程等の演習を行う。						
授業形態	講義、演習、病院実習				授業方法	実習、ＰＢＬ、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション	

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	養護教諭に必要な基礎的な看護の視点を身につけ、病院実習での学びを養護教諭の職務に活かす考察ができる。 【外来実習】 1．外来受診の流れと各科の特徴を捉えることができる 2．各科における予診・診察介助・保健指導の実際を見学し、観察の目を養う 3．各科における代表的な検査について知る 4．受診が及ぼす患者および家族の心理的変化を理解する 5．医療現場と地域社会の連携の在り方について考察する 【病棟実習】 1．患児（者）に対して基本的な健康観察ができ、適切に報告できる 2．患児（者）の健康上の問題を明らかにし、それに対する対症看護が実施できる 3．病棟における感染対策が理解でき実施できる 4．患児（者）の適切な環境を整えることができ、退院後の生活について考察できる 5．保健医療福祉における看護体制の機能と看護職の役割、養護教諭としての連携の在り方が考察できる 【病院実習前後の演習】 1．基本的な救急処置ができる 2．看護的視点を持ち、ケアと保健指導に活かせる 3．養護診断を適切に行い、必要な援助を導き出すことができる。
理想的レベル	病院実習で、必要な看護技術が患者に提供でき、実習を通して得た学びを踏まえ養護教諭の看護力について考察できる。 養護教諭として身につけておくべき救急処置等の手技が身につき、教員採用試験の実技試験に対応できるレベルである。 さらに、養護診断が的確に行え、援助方法を導き出すことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考

試験		
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物	20%	
その他	50%	病院実習

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21513J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：医学系科目、看護学、基礎看護技術で学んだことを総復習する 復習：学校での応用、養護教諭の役割と職務に結び付けて修得する	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	フィジカルアセスメント演習(1)：事例検討①
第 3 回	フィジカルアセスメント演習(2)：事例検討②
第 4 回	フィジカルアセスメント演習⑶：バイタルサイン病院実習に向けて：実習目標と記録整理
第 5 回	診療科の特徴(1)：外来でみられる疾患・検査・患者(児)の特性
第 6 回	診療科の特徴(2)：グループ発表
第 7 回	看護過程の展開(1)：入院病棟での疾患事例による演習
第 8 回	看護過程の展開(2)：発表
第 9 回	技術演習(1)：フィジカルアセスメント、バイタルサインの測定
第 10 回	技術演習(2)：ベッドメイキング、移送・車いす介助
第 11 回	病院実習(1)(2)(3)(4)：外来（4 日間）
第 12 回	病院実習(5)：外来（学内 1 日）外来実習のまとめ、発表
第 13 回	病院実習(6)：病棟（学内 1 日）　技術練習

第 14 回	病院実習(7)(8)(9)：病棟（3 日間）
第 15 回	病院実習(10)：病棟（学内 1 日）病棟実習のまとめ、発表
第 16 回	オリエンテーション（後半）
第 17 回	病院実習のまとめ(1)：個人面談（口頭試問）
第 18 回	病院実習のまとめ(2)：個人面談（口頭試問）
第 19 回	救急処置(1)：包帯法のグループ練習
第 20 回	救急処置(2)：発表
第 21 回	救急処置(3)：熱中症
第 22 回	救急処置(4)：アレルギー（エピペン演習）
第 23 回	養護活動の展開(1)：救急処置事例の振り返りとグループ検討
第 24 回	養護活動の展開(2)：発表
第 25 回	救急蘇生法(1)：心肺蘇生法、AED の演習 （担当：外部講師）
第 26 回	救急蘇生法(2)：心肺蘇生法、AED の演習 （担当：外部講師）
第 27 回	養護教諭に必要な「看護力」(1)：グループワーク
第 28 回	養護教諭に必要な「看護力」(2)：グループワーク
第 29 回	養護教諭に必要な「看護力」(3)：発表
第 30 回	まとめ
テキスト	草川功『新版ここがポイント学校救急処置』(2018) 「看護学」「基礎看護技術」で使用した教科書
参考図書・教材／デ	日本赤十字社「赤十字救急法講習教本」 日本学校保健会「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン（令和元年度改訂)」 日本赤十字社「WEB CROSS」https://www.jrc.or.jp/lp/webcross/movie.html

ータベース・雑誌等の紹介	日本スポーツ振興センター「学校でのスポーツ事故を防ぐために」 https://www.jpnsport.go.jp/anzen/tabid/1765/Default.aspx
課題に対するフィードバックの方法	技術演習は、教員が指導助言を行いながら練習し、質問も随時受け付けます。 病院実習記録は、個別に指導助言を行います。
学生へのメッセージ・コメント	看護臨床実習には履修要件があります。必ず「キャンパスライフ」で確認をお願いします。 病院実習に対する姿勢、学びが評価の重要なポイントになります。事前学習や技術練習等、積極的に実習に取り組み、体調管理を万全にして病院実習に臨んでください。